

■東京シンデレラマイル（SIII）アラカルト（過去16年の分析）

※記録は令和5年12月16日時点

■2番人気馬の3着内率が高い

単勝1番人気馬は5勝、2着2回、3着1回で、3着内率が50.0%、単勝2番人気馬は3勝、2着6回、3着3回で、3着内率が75.0%、単勝3番人気馬は1勝、2着2回、3着3回で、3着内率が37.5%となっている。施行回数がまだ少ないとはいえ、現在のところ単勝1番人気馬よりも単勝2番人気馬の方が3着内率は上だ。

■3番人気以内の馬が1～2着を占めた例は6回

過去16回のうち9回は、単勝3番人気以内の馬が勝利を収めている。なお、単勝3番人気以内の馬によるワンツーフイニッシュ決着は6回あるものの、単勝3番人気以内の馬によるワンスリースリーフィニッシュ決着はまだない。

■高齢馬の健闘が目立っている

馬齢別の勝利数を見ると、3歳が2勝、4歳が3勝、5歳が6勝、6歳が3勝、7歳が2勝となっている。5歳以上の馬が全体の7割近くを占めている点に注目したい。

■外国産馬は現在のところ1勝どまり

外国産馬の優勝例は第4回（平成22年）のザッハーメインのみである。

■騎手別の歴代最多勝記録は「3」

騎手別の勝利数を見ると、3勝の御神本訓史騎手、本橋孝太騎手がトップタイ。2勝の的場文男騎手、森泰斗騎手が3位タイとなっている。

■ 調教師別の歴代最多勝記録も「3」

調教師別の勝利数を見ると、3勝の小久保智調教師が単独トップ。2勝の出川克己調教師が単独2位となっている。

■ 枠番別の勝利数に大きな偏りはなし

枠番別の勝利数を見ると、7枠（4勝）が単独トップ。1枠と2枠（各3勝）が2位タイ、8枠（2勝）が単独4位となっている。なお、未勝利の枠番はない。また、馬番別の勝利数を見ると、2番（4勝）が単独トップ。14番（3勝）が単独2位で、残る馬番は1勝以下となっている。ちなみに、未勝利の馬番は3番、5番、8番、10番、13番である。

<伊吹雅也>